

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査（以下「全国学調」）の国語では、目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き、表し方を工夫することについて全国平均を上回っていました。これは、自分の考えを伝えるために隣の人・グループ・全体での話し合い活動を大切にしてきた成果ではないかと考えられます。令和3年度より、主体的・対話的で深い学びに向かう授業づくりに取り組んでおり、今後発言内容に更なる深まりが見られることが期待されます。

質問紙調査の結果から「学校に行くのが楽しい。」「自分にはよいところがある。」などの設問の肯定的回答率が高くなっていました。これは、日々の学習指導を大切にしていくとともに、学校全体で“あったか言葉”や個別の支援など集団づくりや自己肯定感が高まる取組を行ってきた成果であると考えています。

課題と対応

算数では、道のり・速さ・時間を求める乗法や除法の問題に課題があることが明らかになりました。家庭学習で計算の復習をするだけでなく、考えたことを筋道を立てて記述する学習を奨励したり、算数の授業で友達と自分の考えを説明し合う場面を増やしたりする等の工夫をして学習を進めていきたいと考えています。

質問紙調査の結果から、土・日曜日の家庭学習の時間が短く、自分でやると決めたことをやり遂げる児童の割合が全国平均を下回っているということが分かりました。毎日こつこつ勉強することの大切さを話していくとともに、工夫しながら自主勉強ができるように指導していきたいと思っています。

【保護者・学区の方へのお願い】

質問紙調査の結果では、「携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。」という質問に対しては殆どの回答が肯定的なものになっています。オフメディアチャレンジ等の学校からの提案に対しても積極的に取り組んでいただき感謝いたします。しかし、テレビゲームやスマートフォンの使用時間は全国と比較して依然として長いことがはっきりと分かりました。メディア利用についての家庭での約束事の内容を見直したり、実際どのような使い方をしているのかについて、お子様と今一度話し合いをしていただいたりして、生活習慣のさらなる向上につなげていただきたいと思います。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	漢字の読みやローマ字のつづりを理解している。説明文の内容を正しく読み取ることができる。
	社会	絵地図と比較して地図記号を用いた地図の利点を理解している。
	算数	重さの計算をしたり、かさを表す単位について理解している。
	理科	電気の通り道についてできており、特に目的に合わせた回路を組むことができる。
	学習状況	家で、自分で計画を立て、1時間以上学習している児童が多く、7割以上いる。
第5学年	国語	読み手に分かりやすい筆者の説明の工夫を考えることができる。
	社会	浄水場で働く人々の仕事について、資料を読み取ることができる。
	算数	直方体の特徴や性質について理解している。
	理科	水にぬれたタオルが軽くなった理由について、水の蒸発をもとに説明することができる。
	学習状況	授業で学習した内容をよりくわしく調べてみたいと思う児童が多い。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	招待状を書くでは、目的や必要に応じて書くことに課題がある。	国語では、目的や必要に応じて書く活動を取り入れ書くことよきに気付かせたい。算数の小数の計算、社会科では資料を読み取ること、理科では磁石につく物の理解に課題がある。 算数では、4年で1/1000の位までの小数の表し方や仕組み、計算を学習するときに3年の内容を復習して進める。算数や社会科で、資料から分かることを自分の言葉でまとめることによって読み取る力を身に付けさせたい。理科では、予想をもとに観察・実験を行い、その結果から分かることを図や自分の言葉でまとめ、理解を深めたい。 学習状況については、長時間メディアに触れる児童がいる。時間の使い方を工夫できるように、時間の使い方の例を紹介する。メディアコントロール週間では、少しでも改善できるようにめあてをもって取組を継続できるようにしていく。
	社会	火事が起きたときの連絡体制について資料を読み取ったり、火事を未然に防ぐ防ぐ活動の意味を考え表現することに課題がある。	
	算数	小数の計算に課題がある。	
	理科	磁石の性質では、磁石につく物の理解に課題がある。	
	学習状況	普段メディアを1時間以上使用する児童がやや多く、3時間以上の割合もやや高い。家庭学習時間が30分未満の児童が1割ほどいる。	
第5学年	国語	熟語の構成を理解することに課題がある。	社会科については、地図上にある平野・山地等の正しい名称と位置を理解することに課題がある。 今後の授業を通しての改善策としては、地理用語等は機械的に覚えさせるのではなく、「A山地は、B平野の北に位置する」などと地図を見ながら何度も説明し合うなどして、正確な位置と名称に楽しみながら慣れていけるように工夫していきたい。また、各教科の授業では、積極的な対話によって深い学びに向かえるように、授業づくりやふり返りの方法等について研修を重ねていきたい。 学習状況については、普段メディア等を使用する時間が長い児童が多いことに課題がある。これまで取り組んでいるメディアコントロールを継続するとともに、具体的な取組目標（例えば、今より何分減らし、その時間何をするのか？など）を設定させ、実践した後のふり返りをていねいに行い、メディアコントロールの大切さやよさを実感できるように取り組んでいきたい。
	社会	地形や気候と関連付けて蒜山高原の農業の特徴を捉え、表現することに課題がある。	
	算数	長さ・変わり方・割合のきまりを使って計算することに課題がある。	
	理科	金属のあたたまり方を理解することに課題がある。	
	学習状況	普段メディアを使用する時間が長い児童が多くなっている。	

【保護者・学区の方へのお願い】

（保護者の方へ）学校は、授業を通して子どもたちに身に付けたい力を明確にし、子どもたちが「わかる・できる」と実感できる授業づくりを行っています。身に付けた力は、ご家庭での反復練習や、生活の中で積極的に活用することで生きた力となります。ご協力よろしく申し上げます。

（学区の方々へ）将来、地域を担うであろう子どもたちのために、地域の多様な教育力を今後とも教育活動の協力で活かしていきたいと考えています。ご支援よろしく申し上げます。